「ベル・ダンス（美しいダンス）」とは 17 世紀に現れた、当時の呼び名である。
文法の基礎を学んで正しい言葉遣いを習得することと同様、ベル・ダンスを学ぶことにより技を習得することが出来る。
ジャン・ジョルジュ・ノベル（ダンス教師　1727-1810）

«*Belle danse*» est une dénomination d'époque, apparue au XVIIème siècle.
«*L'étude de la belle danse est à l'art ce que le rudiment et la grammaire sont à la pureté du langage*»
Jean-Georges Noverre (maître de ballet,1727-1810)

チェンバロ：植山　けい　Kay Ueyama

ロンドン生まれ、東京育ち。2004 年 Paolo Bernaldi チェンバロコンクール第 2 位（イタリア）。第 19 回国際古楽コンクール＜山梨＞チェンバロ部門第 3 位（日本）。2010 年フランスでプロメテウス 21 とバッハのチェンバロ協奏曲及び、ブランデンブルク協奏曲全曲演奏会にソリストとして出演。また、オランダやアメリカで開催したコンサートでの演奏を地元メディアに取り上げられ、高く評価された。これまでに、モーツァルト音楽祭（ユネスコ世界遺産ヴュルツブルグ宮殿、ドイツ）、シャペル・ロワイヤル (ヴェルサイユ宮殿、フランス) などで演奏会を行う。2012 年バッハのゴルトベルク変奏曲をスイス・ノイシャテル博物館所蔵ヨハネス・ルッカース 1632/1745 で録音し、フランス Diapason Decouverte、レコード芸術で特選盤並びに朝日新聞 For my Collection に選ばれる。また、デュポールのチェロソナタ集をラファエル・ピドゥー（チェロ）と世界初録音がレコード芸術で準特選盤に選出し、フランス国営ラジオや NHK-FM で放送される。これまでチェンバロをメノ・ファン・デルフト、クリストフ・ルセ、ユゲット・ドレイフュスの各氏に師事。桐朋学園大学ピアノ科、アムステルダム音楽院チェンバロ科、ブリュッセル王立音楽院フォルテピアノ科修士課程終了。15 年間の欧米生活を得て 2011 年に本帰国。現在フランスと日本を中心に活躍する傍ら、京都市立芸術大学、Kay Music Academy にて後進の指導にあたる。http://www.kayueyama.com/

チェンバロ：ジョスリーヌ・キュイエ　Jocelyne Cuiller

パリ国立高等音楽院卒業。ピアノをサンソン・フランソワ、チェンバロをユゲット・ドレフュスに師事。キュイエ女史自身が結成したアンサンブル STRADIVARIA のチェンバロ・通奏低音奏者として世界ツアー（欧米、日本、ニューカレドニアなど）他、フォルジュルネ祭、バッハ音楽祭などで演奏活動を行う。また、フランス・ナント市のコンセルバトワール・チェンバロ科と通奏低音科の教師を 25 年間務め、近年はコンサートや公開レッスンの為に毎年来日している。数多くの録音をしその中でも C.P.E バッハの 3 枚のクラヴィコードの CD は高い評価を受け、ディアパゾン金賞を 2 回、フランスミュージック Coup de cœur 賞 2008、レコード芸術特選を受賞。日本文学や日本語への見識も高い。http://www.stradivaria.org/

バロックダンス：岩佐　樹里　Julie Iwasa

フランス生まれ、東京育ち。幼少より松山バレエ学校にてクラシックバレエを学び、東海大学教養学部芸術学科音楽専攻課程卒業。
第 16 回国際なかのダンスコンペティションにてセンターフィールド賞受賞。2015 年より毎年 Amherst Early Music Festival で奨学金を得、バロックオペラのソリストダンサーを務めている。2015 年 3 月アメリカニューヨークコープランド音楽院にてバロックダンスリサイタルを行う。2016 年 9 月にはバッハフランス風序曲に振付を自身で行い、台湾台北市において台湾初のバロックダンスコンサートで踊り大好評を博す。また、2017 年 3 月にはアメリカツアーにて同プログラムをニューヨークなど複数都市で再演、6 月には台湾ツアーを予定している。国内外で公演に出演する傍ら、日本では音楽家のためのワークショップなどを国内各地で行っており、初心者にも分かりやすいバロックダンス講座には定評がある。2016 年 12 月神奈川県高等学校教育研究回大会講師、2017 年 1 月東京都立芸術高校グローバルキャリア講習会講師を務めている。バロックダンスを D. オルソン氏、浜中康子氏、市瀬陽子氏、湯浅宣子氏、T. ベアード氏、K. マインツ氏に師事。バロックダンス教室アイリスの会、大阪お姫様アカデミー主催。CUNY コープランド音楽院バッハ講習会日本実行委員会委員。著書「踊って楽しむバロック舞曲」（吉澤実氏との共著）http://julie-menuet.com/

【アクセス】ルーテル市ヶ谷ホール＆センター
場所のお問い合わせ：03-3260-8621
東京都新宿区市谷砂土原町 1-1

Accès:
Salle luthérienne d`Ichigaya
1-1 Sadohara-cho ichigaya, shinjuku-ku,Tokyo 162-0842
Station ICHIGAYA (ligne JR Sobu, ligne Toei-Shinjyuku, ligne Yurakucho, ligne Nanboku)

【各線市ヶ谷駅下車】
JR 総武線　徒歩 7 分
都営地下鉄新宿線 A1 出口徒歩 7 分
東京メトロ有楽町線 5,6 番出口徒歩 2 分
東京メトロ南北線 5,6 番出口徒歩 2 分

特別レクチャー **2017 年 4 月 2 日（日）15:30-16:45**（受付開始 15:15）
「バロックダンスと音楽の関係」　講師：植山けい、岩佐樹里
～アルマンド、クーラント、サラバンド、ジグ～

基本の舞曲を、ダンスのステップとフランス音楽やバッハの鍵盤曲と共に解説し、どの様に演奏するのか考察します。バロック時代の宮廷では、ダンスと音楽の両方が教養として非常に重要でした。スライド資料と録音を使用致します。

場所：ルーテル市ヶ谷センター　会議室 1（ホール左横入口より 2 階）
自由席：2,500円
お申込先：www.kayueyama.com, C&K 03-6315-3044
40名様限定のため、お早目にお申込下さい。先着順のお申込、お振込後にご予約確定となり、チケットはございません。